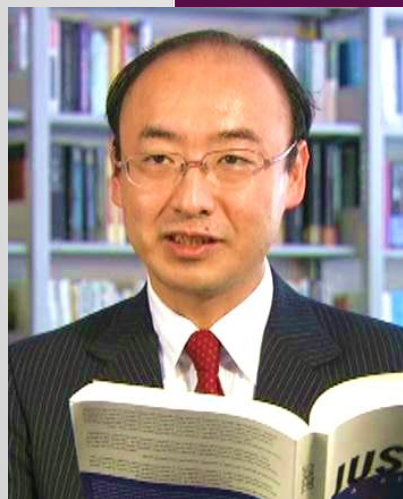


慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科公開講座

白熱対談「公共哲学×SDM」 新しい世界の作り方・見え方



小林 正弥
千葉大学大学院
人文社会科学研究科



前野 隆司
慶應義塾大学
SDM研究科

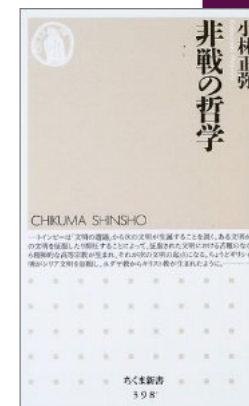
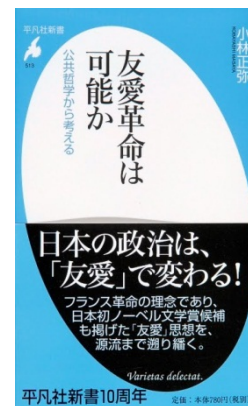
公共哲学のフロン ティア：統合化への 挑戦

小林正弥

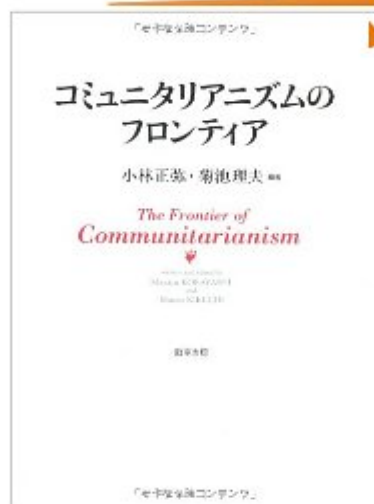
1. 公共哲学の展開



書籍



クリック なか見! 検索



公共哲学と政治哲学



白熱教室 JAPAN

毎週日曜 Eテレ 午後6時から6時58分

これまでの放送 — 番組詳細

小林 正弥教授の「白熱教室」

白熱教室JAPANの第2回は、千葉大学リハビリテーション学部教授の小林正弥先生（リハビリテーション・コミュニケーション）を講師に、小林先生が小堀ひかりに描かれた素人と本人の事件を取り上げ、後半ではアメリカの労働法下の論議の正当性を論議します。これらが許されるという小林先生の立場に対し、様々な立場からの学生たちの議論が交わされます。

第1回「命の価値を議論する」

1月30日(日) 教育 午後6時

正義についての2つの考え方(1)功利主義(2)リベラリズム(3)コミュニタリアニズム)を論議しながら、新田義孝が小堀ひかりに描かれた素人と本人の事件を取り上げ、後半ではアメリカの労働法下の論議の正当性を論議します。これらが許されるという小林先生の立場に対し、様々な立場からの学生たちの議論が交わされます。

第2回「私を所有しているのは私？」

1月16日(日) 教育 午後6時

今回は、正義についての2つの考え方(1)リベラリズム(2)コミュニタリアニズム)を論議しながら、新田義孝が小堀ひかりに描かれた素人と本人の事件を取り上げ、後半ではアメリカの労働法下の論議の正当性を論議します。これらが許されるという小林先生の立場に対し、様々な立場からの学生たちの議論が交わされます。

小林 正弥 (こばやし まさや)

NHK白熱教室JAPAN 4回放送

日経BzCollege「日本版白熱教室 ビジネス哲学を考える」



政治哲学を紹介。各種「白熱教室」の開催。



丸の内朝大学

my朝を、たのしもう

丸の内朝大学とは

クラス一覧

- 環境学部
- 食学部
- コミュニケーション学部
- 心療学部
- 伝説学部
- 旅学部
- マネー学部
- 凡の内科部

丸の内朝大学ブログ

- クラス委員ブログ
- 丸の内朝大学ヴォイス

講師

ソーシャルプロジェクト

春学期 クラス・講座

丸の内学部

毎週金曜日 7:30-8:30
新丸の内ビル10F「東京21cクラブ」

ビジネス哲学クラス
～真剣に語り合いたい丸の内～

人生を生きる哲学クラス

丸の内朝大学 「ビジネス哲学クラス」 「人生を生きる哲学クラス」

WebRONZA 「政治の正義を考えよう」



WEBRONZA

政治・国際 経済・雇用 社会・メディア 科学・環境 文化・エンタメ スペシャル シノドス ブログ Global WEBRONZA+

【お知らせ】WEBRONZA白熱教室「政治の正義を考えよう」受講者を募集中！

2012年08月13日

国内放送

政治・国際 経済・雇用 社会・メディア 科学・環境 文化・エンタメ

アクシオニズム

1. シェアリング「政治」のあり方について (WEBRONZA+ 経済・雇用)

2. 東京市長でブルジョア的リベラリズム (WEBRONZA+ 経済・雇用)

3. 小沢の政治的野望をどう見る (WEBRONZA+ 政治・国際)

4. シェアリング「政治」のあり方について (WEBRONZA+ 経済・雇用)

5. 小沢の政治的野望をどう見る (WEBRONZA+ 政治・国際)

復興アリーナ

新しいこの国のかたちとは—
政治の正義を考えよう—

北大HOPSマガジン

お送りする政治の正義を考えよう

WEBRONZA+

【政治の正義を考えよう】の開催は中止すべきだ(1) 高橋和光 (09/03) 高橋和光

【政治の正義を考えよう】の開催は中止すべきだ(2) 高橋和光 (09/03) 高橋和光

【政治の正義を考えよう】の開催は中止すべきだ(3) 高橋和光 (09/03) 高橋和光

【政治の正義を考えよう】の開催は中止すべきだ(4) 高橋和光 (09/03) 高橋和光

【政治の正義を考えよう】の開催は中止すべきだ(5) 高橋和光 (09/03) 高橋和光

【政治の正義を考えよう】の開催は中止すべきだ(6) 高橋和光 (09/03) 高橋和光

【政治の正義を考えよう】の開催は中止すべきだ(7) 高橋和光 (09/03) 高橋和光

【政治の正義を考えよう】の開催は中止すべきだ(8) 高橋和光 (09/03) 高橋和光

【政治の正義を考えよう】の開催は中止すべきだ(9) 高橋和光 (09/03) 高橋和光

【政治の正義を考えよう】の開催は中止すべきだ(10) 高橋和光 (09/03) 高橋和光

システムデザインマネジメントと公共哲学：学際性

- ◎ 複雑に絡み合った問題をシステムとして全体最適の視点から解決するための方法を教育・研究する、これまでにない、文理融合型。
- ◎ 公共哲学：1. 人々が広く共有して、政治・政策などの公共的問題を解決するための指針となる考え方、2. (何らかの意味の)望ましい公共性を実現しようとする考え方
- ◎ 未分化→専門分化→メタ専門化
- ◎ 哲学 19世紀→20世紀→21世紀

哲学 (PHILOSOPHY)とは？

- ◎ 愛知の学：「ソフィア＝知恵」を希求する学問
- ◎ 出発点はソクラテスの問答法→現代に甦る対話型講義
- ◎ 難解な講壇哲学よりも、人々が生きるための知恵→公共哲学 人生哲学・ビジネス哲学

公共哲学の特性

- ◎ **学際性**：哲学、倫理学、政治学、経済学、社会学・教育学など人文社会科学全体
- ◎ **実践性**：平和、環境、福祉、生成など
- ◎ **精神性**：倫理・道徳・宗教（精神性）
- ◎ **対話性**：専門性を越えた対話、専門家と実務家→サンデル的な対話型講義

公共とは？

- ◎ ネオ・ナショナリズム：「公＝国家」の復権、滅私奉公
- ◎ 公共哲学プロジェクト：活私開公（金泰昌）、
「公≡官≡国家」と公共の区別
- ◎ リベラル派：公私2元論→3元論、「公」と
「私」を媒介する「共」と「公共」、公／公
共／私
- ◎ 多様性・異質性＋共通性の存在：公共（⇔共
同）

時空間的展開

- ◎ 時間的：過去世代・現在世代・将来世代→生成的・ダイナミック コミュニタリアニズム
- ◎ 空間的：グローバルかつローカル 多層的・グローバル コミュニタリアニズム
- ◎ 「世界」＝世（世代）+界（空間）

政治哲学：正義とは？

- ◎ 正義：福利型（結果の幸福）、自由型（義務・権利論）→美德型（目的としての善）
- ◎ 1. 福利型：利己主義、功利主義
- ◎ 2. 自由型：①リバタリアニズム（市場原理主義、自由原理主義） 自己所有権、自己責任
- ◎ ②リベラリズム 正義の2原理（基本的自由・格差原理）、福祉国家
- ◎ 3. 美德型：コミュニタリアニズム 善き生+共通性＝共通善

コミュニタリアニズムのフロンティア

- ◎ 共：ともに考え、行動する。→コミュニティ
→全体性（2の主題）
- ◎ 善：善き生→美德→幸福（3の主題）

公共哲学のフロンティア：2つの挑戦

- ◎ 公共哲学
- ◎ 公共研究：公共哲学と経験的研究・政策研究との統合（人文社会科学）
- ◎ 今後の課題【もともと、問題意識は存在】
- ◎ 文理統合・架橋：自然科学と人文社会科学
- ◎ 東西統合：宗教・思想と科学 幸福公共哲学

全体論的視点

- ◎ 問題をシステムとして俯瞰的にとらえ全体として整合性のある解をデザインする方法(=**システムデザイン・マネジメント学**)
- ◎ **全体論**→普遍的・俯瞰的全体性
- ◎ 全体論的自己・視点
- ◎ 公共的公→公共的設計 (public management)
→公共政策

2. 世界はどうあるべきか？

西洋型世界観と東洋型世界観の融合!?

新公共主義による
東西統合化

人類史の展開

- ◎ 原始時代：家族・部族（全体論的な未分化・融合）
- ◎ （役割などの）分化の進展
- ◎ 古代：王国、帝国（階層性）
- ◎ 中世：封建制（宗教性）
- ◎ 近代：国民国家 個人性（原子論）→民主主義、市場経済（平等性）
- ◎ これからの世界：グローバル世界 ネットワーク（関係論）

全体論

- ◎ 全体には、部分（要素）の合計以上のものが存在すると想定。
- ◎ 西洋古典的 ギリシャ哲学（プラトン、アリストテレス） コミュニティ（ポリス）における正義 全体論的
- ◎ 東洋思想：ヒンズー教（梵我一如）、道教（道）などに全体論的発想
- ◎ 生物学 生命論、有機体論
- ◎ 近代：システム論（社会システム、政治システムなど）→自己組織化

原子論

- ◎ 要素還元主義：すべてを最小の要素（原子）に還元して、その合計として考える。
- ◎ 西洋近代 物理学・化学 デカルトーニュートンの世界観 原子論→西洋近代主義・啓蒙主義
- ◎ 個人を起点とする、社会契約論、功利主義
- ◎ 自由、選択：リベラリズム、リバタリアニズム（自由原理主義）
- ◎ 全ての人に分かれていて多数、差異→ポスト・モダン哲学

原子主義・全体主義批判

- ◎ 全体論が原子論無視→全体主義（ファシズム、スターリニズム）
- ◎ 原子論が全体論無視→原子主義（リバタリアニズム、ポスト・モダン派）
- ◎ だから、この双方の極を避けて、この二つを何らかの形で結合する必要
- ◎ 原子論＋全体論：関係論

東西融合への批判

- ◎ **西洋型世界観と東洋型世界観の融合!?**
- ◎ 第2次世界大戦：東西融合論 京都学派 西田幾多郎（絶対無）→田辺元、和辻哲郎、四天王ら
- ◎ 個人を軽視して国家への献身に収斂 戦争責任問題→戦後、京都学派の影響力は衰退、丸山眞男らの「西洋近代主義」が優位に。
- ◎ この結果、個の析出の重視→リベラル、「コミュンタリアニズム＝共同体主義」批判
- ◎ 参考：小林正弥・菊池理夫編『コミュンタリアニズムのフロンティア』（勁草書房）「京都学派」

畏の回避：新しい統合化の論理

- ◎ 問答法→弁証法（正＋反→合）：「対話法→対理法」として、これまでの弁証法の論理を刷新（新対理法）＝統合化（永遠のプロセス）
- ◎ コミュニティとともに、個人も尊重
- ◎ 国家（＝公）と個人（＝私）との媒介としての「公共」→公共善：理想としての共通善

畏の回避：普遍的全体論

- ◎ 国家は、個人よりは上位の全体性だが、さらに上位の全体性が存在＝地球・宇宙→普遍的全体性（universal wholeness）
- ◎ このような全体性から見れば、国家間の争いは原子論的紛争
- ◎ グローバル・ガバナンス（→地球連邦）、地球的平和の必要性

東西統合化のために

- ◎ 原子論+全体論：新対理法的統合化
- ◎ 原子論的自己+全体論的自己
- ◎ リベラル・コミュニタリアニズム＝リベラル
+コミュニタリアニズム＝原子論+全体論

新しい公共主義

- ◎ 普遍的全体性に基づく、グローバルで多層的・生成的なコミュニタリアニズムないし公共主義
- ◎ 東西の統合的公共哲学＝統合化論的公共哲学

3. 私たちはいかに生きるべきか？

システムとしての幸福な人生のデザイン!?

幸福公共哲学
と文理統合化

ネガティブ哲学：虚無主義

- ◉ ニヒリズム
- ◉ ニーチェ：善悪は弱者のルサンチマンから発生、「神は死んだ」→力への意思、強者（超人）の思想→ナチズムへ？
- ◉ 意味否定論：人生に意味はない。人生無意味論。
- ◉ ペシミズム（厭世主義）

人生哲学と幸福公共哲学

- ◎ 人生哲学＝「世界」における実存（主義）
：いま、ここにいる私
- ◎ 幸福公共哲学＝私と「世界」の幸福
- ◎ 福利型：快楽型幸福論 エピクロス→利己主義、功利主義
- ◎ 自由型：自由型ないし理性型義務論 カント
- ◎ 美德型：美德型幸福論 善き生 ソクラテス、プラトン、アリストテレス

アリストテレス：「善き生」と幸福

- ◎ 最高善＝幸福（エウダイモニア）
- ◎ エウダイモン 善き精霊（神）→ 意味：開花（flourish）
- ◎ 最高善＝究極的・自足的な目的＝幸福＝人間の最も善き、最も究極的な卓越性（アレテー、美德）に即しての魂の活動
- ◎ 美德→「善き生」→幸福

人生哲学との関連

- ◎ 第1因子: 自己実現と成長 自由型・美德型
 - ◎ 第2因子: つながりと感謝 美德型(関係論)
 - ◎ 第3因子: 楽観性・ポジティブ志向 美德型
 - ◎ 第4因子: 独立・マイペース 自由型
-
- ◎ 地位財・経済成長 快楽型

ポジティブ心理学：楽観的思考

- 科学的心理学：ネガティブ心理学→ポジティブ心理学 持続的な幸福、安寧 (well-being)
- セリグマン、科学的研究において、心の（病気ではなく）健康に焦点
- ポジティブな心の状態→幸福、健康
- ネガティブな思考→悲観主義、落ち込み、不安、絶望、病気、憎悪、不満
- ポジティブな思考→楽観主義、前向き、自信、希望、健康、思いやり（愛）、感謝

心理学的美徳研究

- ◎ 人格（性格）の概念の復権→人格の強み＝美徳の重要性
- ◎ 歴史的美徳 愛（仁・信）・智（賢慮・節制）・力（勇気・正義）：仁義礼智信（儒教）、正義・賢慮・勇気・節制（ギリシャ）＋愛・希望・信仰（キリスト教）
- ◎ 「生き方の価値（V I A）」研究：叡智と知識、勇気、人間性、正義、節制、超越

ポジティブ哲学

- ◎ 心理学→哲学 **幸福転回**（ポアレンスキー）
- ◎ 人生の目的＝正 善、美德（⇔負 悪、悪徳）幸福概念の深化（永続的幸福、至福）
- ◎ ポジティブ思考：**楽観主義的**で美德（愛、智、力）に基づく思考
- ◎ 科学的心理学と哲学の**文理統合**→人々が幸福になる哲学
- ◎ 対比：ネガティブ哲学：ペシミズム（厭世主義）、ニヒリズム（虚無主義）

ネガティブ社会科学

- ◎ 性悪説的人間論
- ◎ ホッブズ（万人の万人に対する闘争）、マキャヴェッリ（権謀術数？）→近代政治学
- ◎ スミス（神の見えざる手）→近代経済学
- ◎ これまでの自然科学主義的な社会科学：ネガティブな文理統合化

ポジティブ社会科学

- ◎ ポジティブ心理学→ポジティブ哲学→ポジティブ公共哲学（幸福公共哲学）＝コミュニタリアニズム的公共哲学
- ◎ 「善き生」の実現→「善き世界」の実現
- ◎ それに基づく美德型社会科学＝ポジティブ社会科学：ポジティブ政治学・経済学・社会学など
- ◎ ポジティブな文理統合化